

(参考) 未開通区間の開通による効果

- ▶ 東九州道の北九州～宮崎間において、椎田南IC～豊前IC間（約7.2km）が唯一の未開通区間です。
- ▶ 東九州道（北九州市～宮崎市間）の整備により、主要都市間の所要時間が約半分に短縮します。未開通区間が開通することにより一般道への乗り降りがなくなりスムーズな走行が可能となります。（未開通区間の開通による時間短縮 約10分）
- ▶ また、一般国道10号等から東九州道へ交通が転換し、一般道の交差点等での渋滞緩和や交通安全に寄与します。

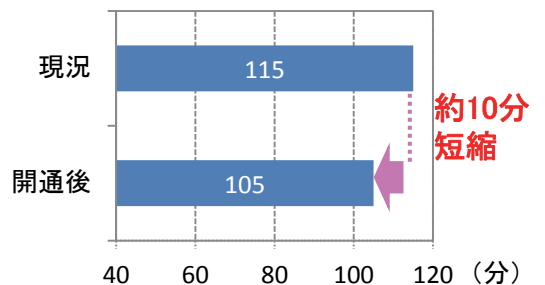
■東九州道(北九州～宮崎間)整備状況図



■残る未開通区間



《北九州市～大分市間 時間短縮効果》



■繁忙期(お盆期間)の混雑状況



- ・今年のお盆期間では、高速をご利用されたお客様のうち、8/13～8/15で約8,700台/日(※)のお客様が、当該区間を一般道を介して利用。 ※: 非ETC車は含まれておりません。
- ・また、当該区間の付近で一般道を含めた交通混雑がみられ、8/13～8/15に、椎田南IC付近の一般国道10号(大分行き)の中村交差点から、東九州自動車道の本線にわたり3～10km程度の渋滞が発生。